

都市計画マスタープランの 改定について

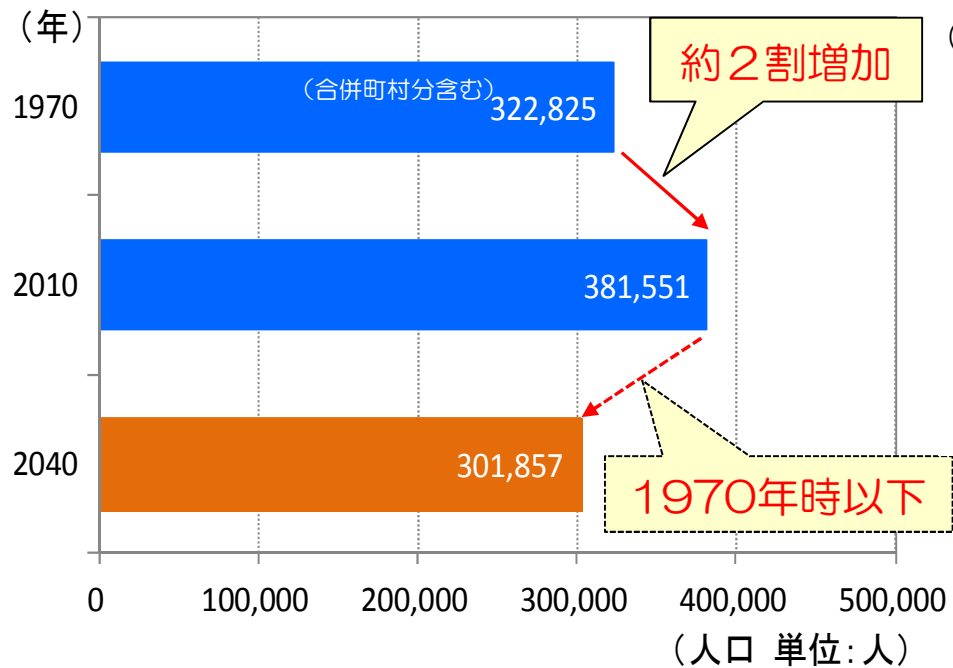
(多極ネットワーク型コンパクトシティ推進に向けて)

都市整備部 都市計画課

長野市を取り巻く状況

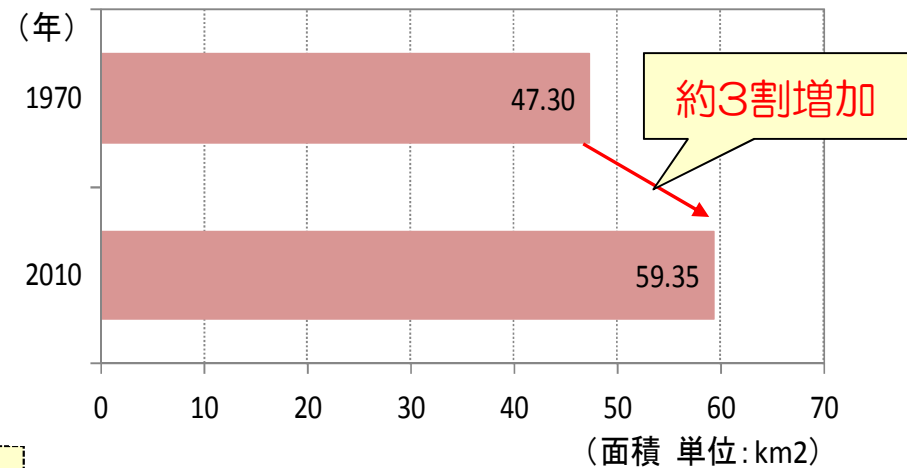
- (1) 急速な人口減少と高齢化の進展
- (2) 公共交通の衰退及び広域交通の延伸等の交通状況の変化
- (3) 市街地が拡散し、低密度な市街地を形成

◎長野市の人口の推移



(国勢調査, 社会保障・人口問題研究所)

◎長野市の市街化区域面積の推移

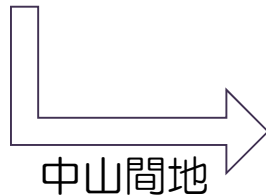


(長野市の都市計画 資料編)

長野市の目指す都市構造

多極ネットワーク型 コンパクトシティ

- 公共交通を軸としたコンパクトな街づくり
- 高齢者や住民が公共交通により医療・福祉施設、商業施設にアクセス可能
- 日常生活に必要なサービスや行政サービスが身近に存在



小さな拠点

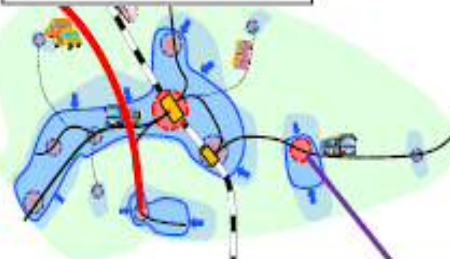
- 生活に必要な施設を徒歩圏内に集めた拠点を整備
- 市街地と結ぶ公共交通網の充実と拠点内での交通手段の確保

生活サービス機能の計画的配置

- ・福祉・医療施設等をまちなかで計画的に配置



多極ネットワーク型 コンパクトシティ



公共交通の充実

- ・交通網の再編、快適で安全な公共交通の構築、公共交通施設の充実を推進

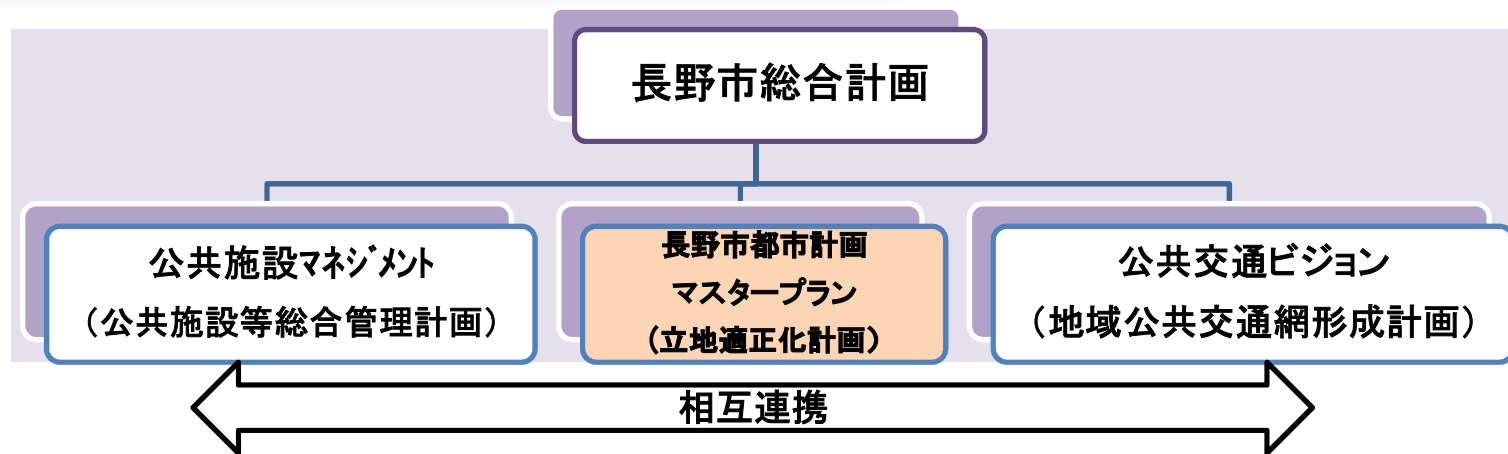
人口密度の維持

- ・集落の歴史、人口の推移等を意識してまとまりのある居住を推進→利用圏人口

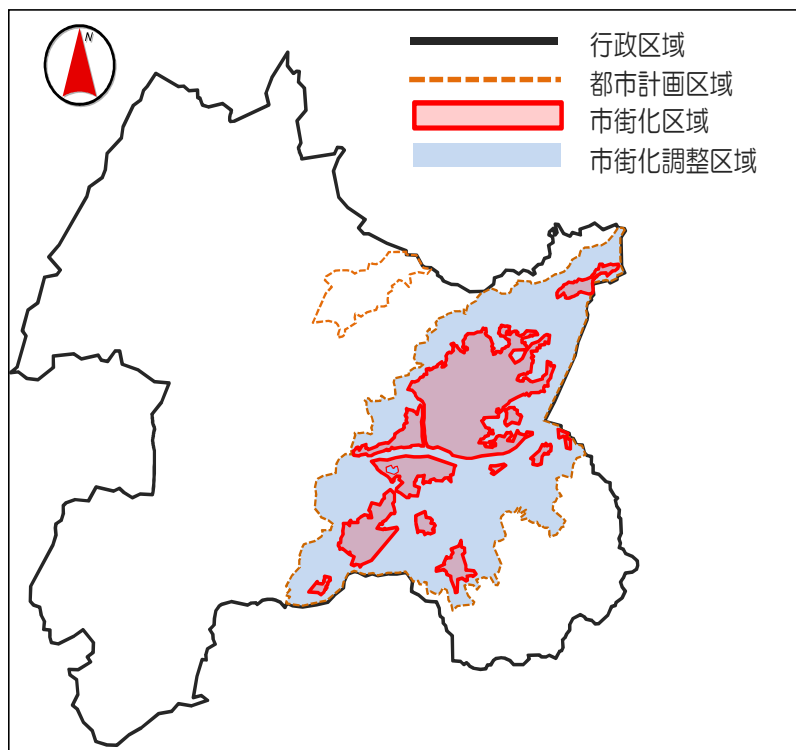


都市計画マスタープランの位置づけ

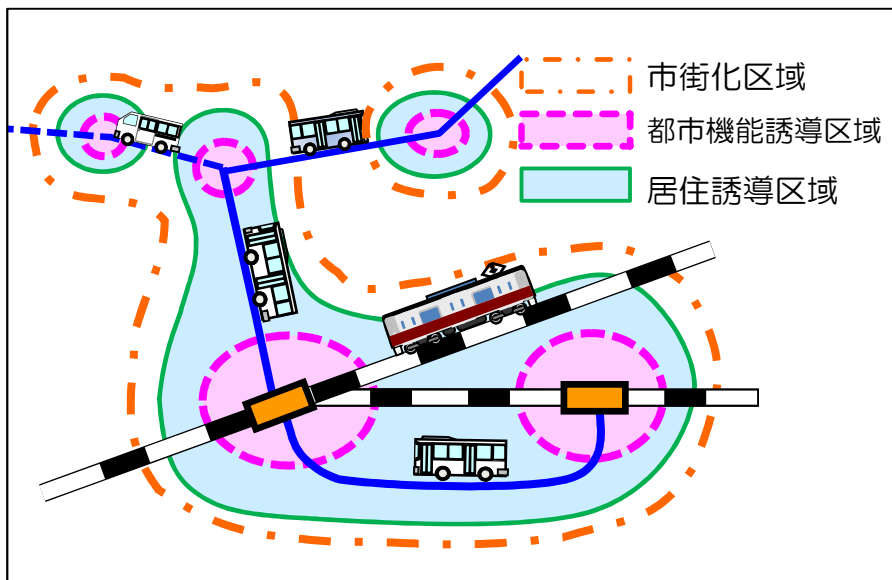
◎関連計画



◎区域設定



立地適正化計画⇒「目指すべき都市の骨格構造」と「誘導方針」



策定のための3つの柱

○都市機能誘導区域【必須事項】
中心的拠点や生活拠点に医療・福祉・商業等を誘導集約し、これら各種サービスの効率的な提供を図る区域

○居住誘導区域【必須事項】
一定エリアにおいて人口密度を維持し、生活サービスやコミュニティが持続的に確保されるよう居住を誘導する区域

○公共交通計画
公共交通を軸とした街づくり

(国の支援)

都市機能誘導区域の
設定・公表
(H28年度末まで)



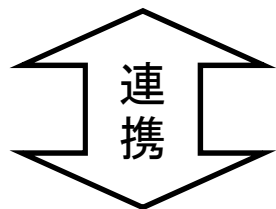
国の支援措置
交付率のかさ上げ

関連計画との調整・連携

◎公共施設マネジメントとの連携

公共施設 マネジメント のポイント	人口減少・少子高齢化社会における、公共施設の「量」と「質」を見直す
-------------------------	-----------------------------------

公共施設マネジメント
 今後20年間で
施設総量の20%縮減目標

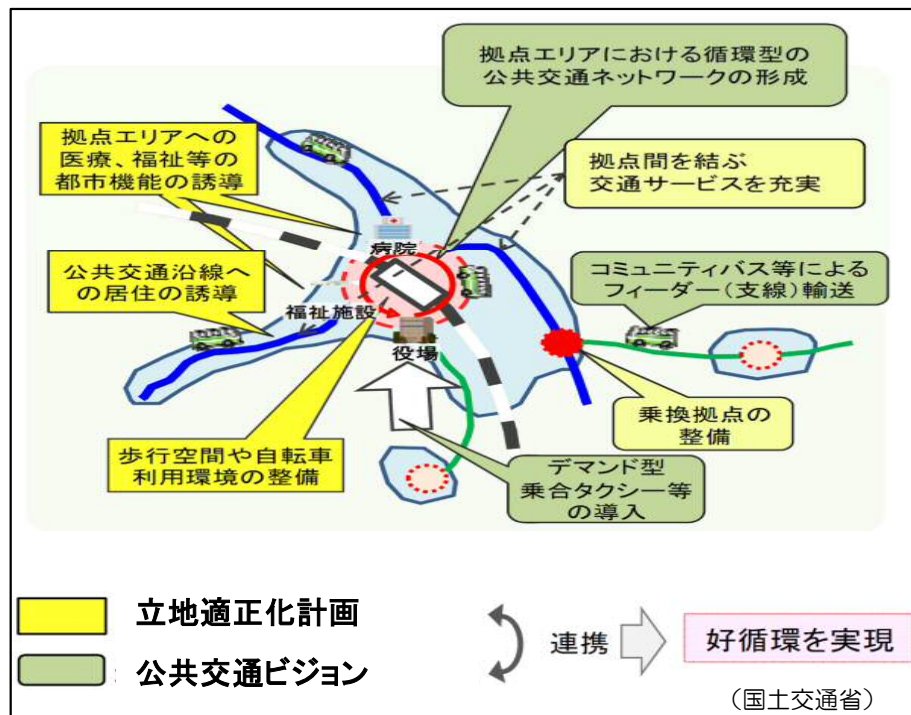


立地適正化計画
 都市機能の誘導

(国の支援策)
 中心拠点等の形成に資する
 誘導施設の整備支援

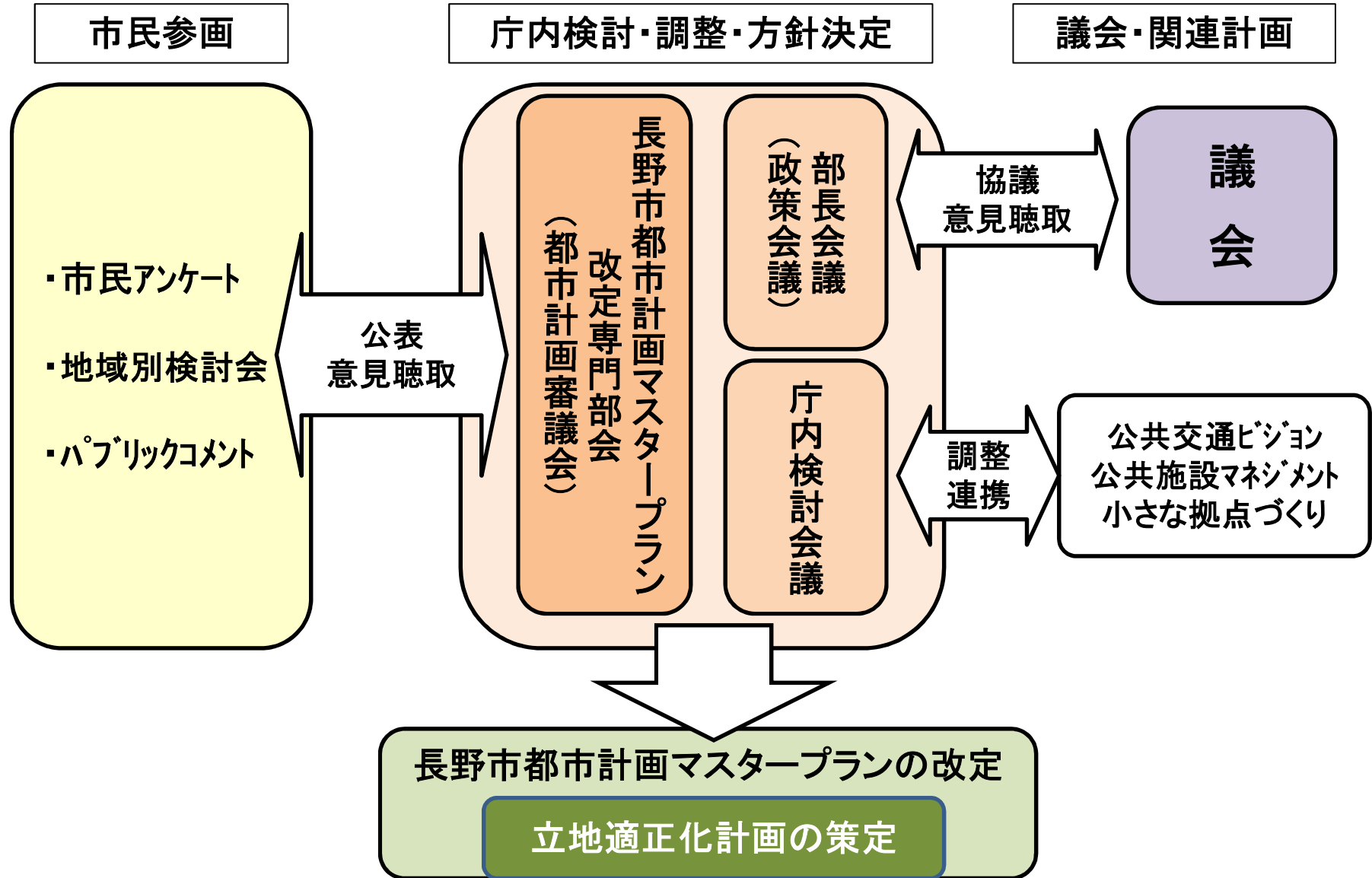
◎公共交通との連携

公共交通 ビジョン のポイント	地方公共団体が中心となり、 まちづくりと連携 し、 <u>面的な公共交通ネットワーク</u> を再構築
-----------------------	--



(国の支援策)
 公共交通施設の整備支援

検討・協議体制



改定のスケジュール

年度月	H26年度	H27年度				H28年度					
		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月		
都市計画審議会(専門部会)		5・29 都市計画審議会に諮問	専門部会の設置	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>都市計画マスタープラン・立地適正化計画</p> <p>専門部会での立案・検討</p> <p>都市計画審議会での意見聴取・審議・策定</p> </div>				<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center;"> <p>都市計画マスタープランの改定</p> <p>立地適正化計画の策定</p> </div>			
関連計画	公共施設マシナリ	第五次長野市総合計画									
市民参画				市民アンケート	地域別検討会		地域別説明会	パブリックコメント			